

式辞

いつか寒くなるのかと思っていた冬も行ったり来たりの日々のうちに各地の花の便りが聞かれるそんな季節となって参りました。今は白い山々も、いよいよ精気に満ちた装いに向かおうとするそんなよき日に、日頃お世話になっている同窓会、PTA、学校評議員、定時制振興会等、多くのご来賓の皆様にもご臨席いただき、長野県長野高等学校卒業証書授与式を挙行できる運びとなりましたこと、喜びに堪えません。

ただいま、全日制 271 名、定時制 5 名の生徒の皆さんに卒業証書を授与いたしました。みなさん、おめでとうございます。本日お見えになっていらっしゃる保護者の皆様におかれましては、中学校を卒業し、長野高校に入学した当時の姿が思い出され、すっかり頼もしくなって、親の手を離れて未来へ旅立とうとする子どもさんの成長を強く実感されていることと思います。

この思い出深い学び舎を旅立つみなさんに、私はお話ししたいことがあります。

私たちが生きていくうえで脂質や糖質等の栄養分は重要なエネルギー源です。しかし何百万年にわたって、我々の祖先たちがそれらをふんだんに摂取できる状況はありませんでした。従って私たちは進化の過程でその取りすぎに対する歯止めを獲得できていません。地球環境にやさしい生活習慣を浸透させるのが難しいのも同じ理由で、いったん手に入れた快適さを放棄するのは私たちにとって難しいのです。

皆さんの高校生活の 3 分の 2 はコロナ感染症の蔓延に翻弄されました。この間私たちの生活はあらゆる面で制限され、学校の行事も変更を迫られたり中止となったりしました。コロナ禍にあって政府から求められた自制によって私たちが感じた圧迫感、不自由さには、現代人が本来的に消費と拡大を欲しており、コストを負ってまで将来の地球環境の利益を守ることに、残念ながら未だに熱中できないでいる事実が滲んでいます。

50 年くらい前に作られたコンコルドという旅客機を知っているでしょうか。イギリスとフランスが国威をかけて開発し 1969 年に就航した超音速旅客機です。コンコルドは普通の旅客機の 2 倍の高度をマッハ 2 で飛びました。ロンドン、ニューヨーク間は飛行機で今でも 5 時間半から 6 時間くらいかかりますが、コンコルドは 3 時間で飛ぶことができました。

離着陸時には機首が折れ曲がる独特の特長をもつ機体は、今なお人気があります。しかし、製造コストがかかりすぎること、燃料費の高騰、長い滑走路を要したことなどで当初世界からコンコルドは受注があったものの、その後キャンセルが相次ぎ 16 機が製造されたにすぎませんでした。

開発段階から採算が取れないことがわかっていたにもかかわらず、それまでの投資をおしんでプロジェクトは続けられました。しかし、2000年には墜落事故が起き、2003年にすべてのコンコルドが退役しました。コンコルドは商業的な失敗であり、もっと早く手をひくべきだったのです。

金銭的、精神的、時間的な投資を継続することが損失につながるとわかっているにも関わらず、それまでの投資を惜しみ、さらなる投資がやめられない状態を、経済学、心理学の分野で「コンコルドの過ち」というそうです。コンコルドの過ちを犯している間は、そのことをやり遂げることがもっとも価値のある重要な事柄だと人々は信じています。

私たちは糖質を制限しなければいけないと知っていても、摂取しすぎてしまい、地球環境に良くないと知りつつも日々の生活を改善できないでいる。何かに執着するとそれが不利益をもたらしている事態を自覚できない。人はもともと誤りを生んでしまう性質をもちあわせているのです。

ウクライナやパレスチナで続いている目を覆いたくなるような惨状はもとをたどると現代に生きる人々や子供たちとは無縁な、歴史的な確執に由来しています。人は生来、誤りを犯す傾向があるのならば、人間はこのようなあからさまな過ちから、一体逃れることはできないのでしょうか。

私たちは78年前、憲法を制定する際に、平和を愛する諸国民の公正と信義を信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意しました。私たち一人ひとりの存在は小さく、時に愚かな判断をしてしまおうとも、世界の人々は、私たちと同じように、戦争の悲惨さや貧困を嘆き、この世界を少しでもよいものにしたいとひたすらに願っています。

卒業生のみなさん、世界の人々との共存を志向し、平和を愛し、多様であるべき人間の幸福の在り方、生き方にいつも理解と支援をやまぬ、そういう人になってください。

皆さんが共有するこの長野高校で学んだ年月の思い出は 未来永劫ここにいる一人一人を互いに結び付ける頼もしい力となって、いつまでもしなやかに、あなたがたの可能性に満ちた行く末の頼りとなることでしょう。

最後に 皆さんの卒業を心から祝福している保護者の皆様、同窓会の皆様、学校評議員の皆様ほか本校の教育活動に日頃から深いご理解とご協力をたまわっている皆様に、篤く御礼を申し上げ、式辞といたします

令和6年3月2日

長野県長野高等学校長 廣田 昌彦